



私たちの 町議会 びらとり



作：佐々木 かりん 氏
本町在住
「緑の窓があるアトリエ」
(油絵)

ここが聞きたい一般質問	P 2
委員会報告	P 6
行政報告	P 8
審議した議案	P 8
議会の仕組み	P 9
あの人に聞く	P 10

vol.121 2024.11.8

ここが聞きたい一般質問

※この文章は一般質問した議員本人が要約し、作成しております。
質疑応答の全文は平取町ホームページの平取町議会議事録を
ご覧ください。

さきひろ ひでき
崎廣 秀樹 議員

遠藤町長2期目の

取り組みについて

問 町政2期目のテーマ、その基本的な考え方について伺います。

答 (町長)

持続可能なまちづくりを目指すというのが基本です。当然、時代の変化、地域情勢の変化に応じた色んな政策を考えていくことが、私の責務でもあります。

問 平取町は本町、振内町、貫気別の3地区に分かれています。地域に住む人に納得してもらえるまちづくりをどう考えるのか伺います。

答 (町長)

行政としてその地域が維持し続けるための、最低限の行政サービスは、今後も維持していかなければならないと思っています。それぞれ地域に特徴があると受け止めておりますので、そこをさらに伸ばし、持続可

能な地域づくりを進めていくうえで、行政が行うべき事は継続していきま

問 地域に必要な施設として、役場支所や郵便局さらには農協支所などを集めた複合施設を将来的に考えないか伺います。

答 (町長)

高齢化する地域では「対面」が非常に重要な部分です。色々な機能を混ぜ合わせた中で対応するというのも重要なポイントだと思いますので、是非検討します。

問 小学校や中学校を同じ建物で、グラウンドや体育館を共有する学校施設、将来的には小さな町として生き残っていくために大事と考えますがいかがですか。

答 (町長)

校舎の老朽化や児童生徒数の推移などを見て、今の中高一貫にも課題もあると聞いておりますが、施設の整備等、それから教育自体の中身の検討等も必要だと思いますので、検討する分野だと思っております。

問 人口減少に伴い行政の効率化から、広域行政の拡大について考えを伺います。

答 (町長)

一部事務組合、さらに進んだ広域連合というような仕組みを、分野ごとにより効率化を図る中で自治体や住民の方々にメリットがあるかを考えて参ります。私の考えとも合致しますので、是非進めていきます。また、広域化の検討を近隣の町長で話し合う機会を、今後設けます。

かやの ひさひこ
萱野 久彦 議員

人工透析患者への 支援策について

問 平取町での透析室開設を求める請願を議会が主旨採択しましたが、開設は見送られています。患者も町の財政を揺るがしてまで絶対にやれとは思っていません。町

では既に通院費の一部補助を行っていますが、患者達の透析療法の苦痛を思えば全額補助を考えてはどうでしょうか。

答 (町民課長)

通院費の4分の3は町が負担しています。1回の費用は大した額ではありませんが、月に13回、年間にするとかなりの額になります。他の自治体のケースを参考にしながら個人の負担を軽減出来るように今後検討させていただきます。

問 透析患者の1番の希望は、近い所に安心安全な透析場を願っています。今後の方向性について町長の考えをお聞かせください。

答 (町長)

現時点ではスタッフの確保の問題、またお医者さんの問題等十分な環境が難しいため、門別国保病院に依存することで進めさせていただきたいと思っています。今後透析患者の会の皆さんも含め意見を広聴できるように場を設けて、色々な方向性について協議できればと思っています。



△門別国保病院の透析室

千葉 良則議員

人口減少による町が抱える課題と対策について

問 現在の人口減少率でこのまま推移すれば、令和12年に3900人台となります。

答 町も様々な政策を実行してきましたが、効果的な成果を得ていません。税収も減少となりますが、標準財政規模を含めた予算編成の考え方を伺います。

答 (町長)

標準財政規模は40億円ぐらいです

が、町の様々な状況を含めて、交付税も多くなっています。財政規模は大きいですが、町民の行政サービスに係る投資的経費をいかに確保するのが視点となり、国庫補助金、道補助金をはじめ、他の特定財源等も積極的に充当して予算編成にあたります。

問 公債費が増え続ける中、老朽化の進む役場庁舎、消防庁舎、そして本町体育館等の建設予定は今後どの様に進めていくのか伺います。

答 (町長)

借金を返していく公債費の額が予算規模に比して大きい実態があります。また財政構造的に困難な状況に陥ってしまう見通しもあります。施設の複合化や広域化も意識して議会からもご意見等をいただき、効率の良い建て方を検討します。

問 財源確保の視点から「ふるさと納税」の更なる強化を図る必要があると思いますが、今後の戦略体制について答弁を求めます。

答 (町長)

一般財源の確保ということで、非常に重要だと考えます。返礼品のポ

テンシヤルとして5億円の寄付に対応できると確認しています。新たな採用計画等も含めて組織の在り方や編成についても検討して行きます。

問 「人口減少を前提にまちづくり」という見出しで町長のインタビューが新聞に載りましたが、定住移住政策を推進している他町を参考に、町としても強化すべきでは。

答 (町長)

政策的に何もやらないという事では無く、これまでチャレンジ農場、新規就農制度の拡充、森林環境譲与税を活用したインターン制度の活用、アイヌ文化の振興等行ってきた成果も出ています。ゆるやかな人口減少をにらみながら、新たな人を呼び込む町政を更に進めていきます。

木村 英彦議員

平取町ゼロカーボンシティ宣言の取り組みについて

問 平取町はゼロカーボンシティ宣言を行っており、その中で推進計画を立て、様々な施策を進めている

ところだと思っています。ゼロカーボン推進には、森林環境が大事だと思っております。それを踏まえて、FSCなどの国際森林認証を取得し、町として進めていく計画はないのか伺います。

答 (産業課長)

ゼロカーボンシティ宣言に伴い、森林面積が大きい当町にとっては、CO2を吸収する森林の整備は大変重要だと思っています。しかし現段階においては、質問にあります平取町森林経営計画及び整備計画を策定、促進する産業課としては、FSC認証制度を取得し、活用していく内容を計画に盛り込むということは、もう少し慎重に取り扱っていききたいと考えています。その要因は、当町の町有林は人工林がカラマツで、地元の製材工場の育成の観点から、地元で消費することを基本としております。地元製材工場から生産されたものが小売店に届くまで、全ての組織が、CO2認証を受ける必要があります。簡単ではないと考えておりますので、もう少し状況を見ながら検討していきたいと思っています。ゼロカーボン推進に係る森林の整備につ

かなや
金谷
みつる
満
議員

年3月に第9期高齢者福祉・介護保険事業計画が策定されましたが、この計画に訪問看護が盛り込まれていない経緯を伺います。

答（保健福祉課長）

第9期介護保険事業計画の策定にあたり、令和5年度に3回の運営委員会を開催し、計画案を審議していただきました。その際の病院の考え方として、まず訪問診療を開始し、状況を見ながら訪問看護を検討していきたいとのことでしたので、訪問看護についての具体的な記載はありませんが、計画の第6章施策の展開の中で、切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築を関係機関と協議を行い進めるとしています。この提供体制の構築には訪問看護も含まれ、在宅の方に対する支援を関係機関と協議を行うとしていますので、ご理解いただければと思います。

問 訪問診療の進捗状況について伺います。

答（保健福祉課長）

現在、訪問診療の患者はおらず、提案をしても通院可能と断られるケースがあると聞いております。

問 在宅・介護に関する相談ができる地域連携室を国保病院に設置後の利用状況について伺います。

答（保健福祉課長）

今年度から2人体制で相談に対応しており、件数は4～8月で既に昨年実績を超えていると聞いております。連携室職員には在宅医療介護連携コーディネーターを依頼しており、情報の収集や課題の把握、施策の企画・立案などを行いながら、協議・報告の場として在宅医療介護連携推進委員会を開催、更には関係者へ研修会を開催していただきます。これにより、関係者間の連携強化につながると考えます。

まつざわ いぐこ 松澤以久子議員

町民プールの

改修について

問 平取町には振内町、二風谷、

本町の3か所にプールが設置されておりますが、どれも30年以上たっており、大変老朽化しております。特に、更衣室、トイレに関しては、壁

が剥がれていたり腐っていたりという状態です。教育の振興のため、プールがない地区も共同で使用することも考えられますので、今一度現状を把握し、改修する考えがないのか、もし計画をしているならその時期も伺います。

答（生涯学習課長）

町内3か所のプールにつきまして、全体的に老朽化が進んでいるところですが、中でも本町の町民プールの更衣室とトイレにつきましては傷みが激しい状況になっております。プールの改修の時期につきましては、修繕の必要な箇所から優先順位を考え、予算の範囲内で計画的に改修していきます。

問 今のトイレは汲み取り式で底

が見えていて、怖がって行きたがらない子どもがいます。簡易水洗にするとしてもかなり費用がかかります。屋内にあると夏の間の2か月間ほどしか利用出来ません。そこで平取小学校の（本町）プールは、町民プールとしても利用されていますので、広く町民が利用できるように、屋外に新しく設置することを考えられないか伺います。

答（生涯学習課長）

現在、トイレの便槽の部分がかなり広い範囲で見えていますので、上の便器の部分だけを取り替えるとか、簡易水洗にして底が見えない状態にするなどの検討をしていきます。以前屋外に簡易トイレが設置されていましたが、老朽化した際に利用者がいないということもあり撤去した経緯があります。プール利用者の利便性や、トイレの清掃・管理の問題、学校敷地内に一般の町民の方が出入りすることの防犯上の問題などがあり、今後本町みどりが丘地区の整備が進んでいくことで、町民プールの近くや学校敷地内にトイレが必要ということになった場合には、平取小学校や関係機関と協議していききたいと考えます。



△本町町民水泳プール

総務文教・産業厚生
合同常任委員会

8月27日開催

協議・報告事項

◆令和6年度新型コロナウイルスワクチンの接種について

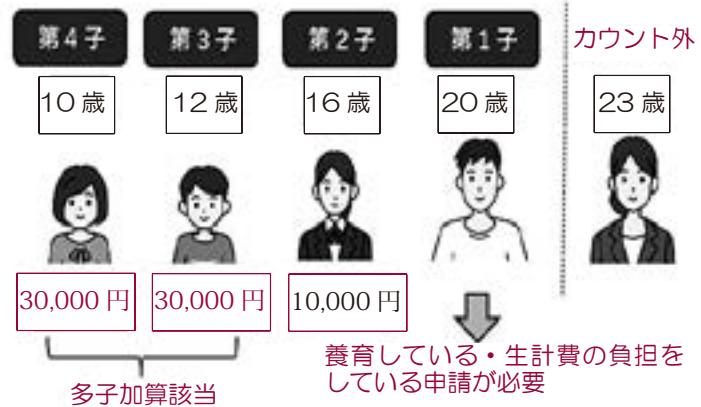
国のワクチン接種方針では、定期接種の対象者は65歳以上の方と、60歳から64歳で重症化リスクの高い方となります。接種の時期は年1回、10月1日から3月31日の期間内となります。

なお、定期接種以外で接種を希望する場合は、任意接種として全額自費で接種することが出来ます。

◆児童手当の制度改正について

令和6年10月から制度改正が行われます。この改正により、①中学生から高校生までの支給対象期間の延長、②所得制限の撤廃、③多子加算について第3子以降1万5千円から3万円へ増額、④支払月を年3回から年6回とし、改正後の初回支給が令和6年12月となることから、これに対応するため、補正予算を計上する予定です。

△(例)子ども5人を養育している場合



◆平取町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

健康保険の被保険者証の廃止が令和6年12月2日から施行されます。国民健康保険の被保険者証も廃止となるため、国民健康保険条例の第10条罰則にて、国民健康保険法に基づく過料を設けておりますが、そのうち被保険者証の返還に応じない者に関する部分を削除し、この改正に伴う経過措置を設けるものです。

Q 12月からマイナンバーカード

の保険証利用(マイナ保険証)が始まるが、窓口に出向くことが難しい方のカード取得への対応はどのように考えているのか。(木村)

A 窓口での手続きが困難な方については、町内であれば職員が出向いての手続きは可能だと思います。極力マイナ保険証につながる仕組みで今後進めていきたいと考えています。(町民課)

◆平取高校魅力化の取組について

地域留学に興味を持っている生徒が利用する会員制ポータルサイトに登録、希望やイメージに合わせたテーマ別説明会・個別説明会・対面説明会に参加、さらに平取高校入学を検討したい方が参加するオープンスクールや「おためし地域留学」を実施し、全国募集に取り組めます。

Q 本格的に高校存続を考えるうえで、生活できる寮が必要ではないか。(四戸)

A 20名ぐらい入る寮の整備をするのか、空き家を整備し増やしていくのか、方向性をそろそろ考える時期かなと思っています。(まちづくり課)



△「おためし地域留学」2日目
(木彫りのコースター作り)

◆瑞穂地区共同水道施設漏水による町簡易水道への加入及び瑞穂地区共同水道施設の廃止について

令和6年2月22日に岩知志の瑞穂地区水道において漏水が発生し、配水池が空の状態となりましたが、漏水箇所が発見できないことから、生活に影響が出るため、町の簡易水道本管から地区本管へ接続してほしい旨の要請があり対応しました。これにより共同水道施設は廃止します。

Q 漏水補修費の地元負担を少しでも軽減できないのか。(崎廣)

A 瑞穂地区では積立金があります

すので、負担割合についてはご理解をいただいております。

(建設水道課)

Q 現在、耕作地の中に配管が通っていますが、将来的にこれを道路際に移す考えはないのか。

(中川)

A 改修等も当然事業費がかかりますので、今後計画に上げて考えていきたいと思っています。

(建設水道課)

◆ふるさと納税の取組について

今年度は、ポータルサイト数の増加やふるさと納税業務への時間確保の増加並びに町外在住の職員への寄附の呼びかけをし、寄附額は推定で2億4000万円を見込んでいます。

Q 5億円を目指すような取り組みの考えはあるのか。

(千葉)

A 可能性のある5億円の納税額を見込んで、人員体制の充実や新たな返礼品の開発など、状況を見ながら、来年に向けて検討したいと思っています。

(町長)

Q 体験型返礼品のひとつである幌尻岳ガイド付プレミアム登山は、

8月は降雨で中止になったと聞いた。納税いただいた方たちへどのように対応したのか。

(井澤)

A 寄附された方に次の2つの内から選んでいただきました。案①19万8000円(寄附額)相当の返礼品に代える。案②来年度のガイド付登山に優先的に入る。8名中7名が即答で案②を希望されました。

(観光商工課)



△平取町ふるさと納税ホームページ

◆実写版「ゴールデンカムイ」コラボイベントについて

コラボイベントを行うことで、町のPRとアイヌ文化を身近に知り、町内滞在時間の延長による町内消費増加をはかるツアーの開催と衣装展、スタンプラリー実施のため281万6000円を補正する予定です。

Q 未公開のロケ地を公開した後、町やアイヌ文化のPRにつなげられないのか。

(松澤)

A 今回のツアーではゴールデンカムイの物語を前面に出すような版元から指示があったため難しく、実施できませんでした。しかし、アイヌ文化伝承の場所でもありますので、今後も当町をPRできるコラボ内容を考えていきたいと思っています。

(観光商工課)

◆令和6年度平取町地域おこし協力隊について

近年、アイヌ伝統文化・工芸の担い手確保が重要な課題となっていることから、地域おこし協力隊を募集したところ1名の応募がありました。

Q 伝統工芸を身につけたいのであれば、活動場所は伝承工芸館ウレシパで良いが、そうでなければ、アイヌ文化振興公社で活動する選択もあるのでは。

(木村)

A 幅広くアイヌ文化にかかわっていたらアイヌ文化振興公社も一つの選択になるかと思っています。本人の希望を再確認のうえ、受け入れ団体について協議します。

(アイヌ施策推進課)



△二風谷イタ

総務文教常任委員会

学校訪問

事務調査の一つとして例年実施。中学校2校、小学校5校を訪問
実施日…9月26日・27日

◆調査内容

- ・学校運営方針やICT教育の推進状況等
- ・施設点検及び授業参観

○食育の観点から朝食の状態を確認したところ、一部に食べない児童生徒がいるとの報告がありました。が、学校通信などで改善を促しておりました。また、給食は児童生徒及び教職員からも評価が高く食

べ残しがないと報告され、自校方式で行われている給食は高く評価できます。

○施設整備では、昨年、猛暑で児童生徒や教職員の健康や学業に大きな影響が出ていました。今夏も暑い日が続いていることから各校のエアコン設置等の状況を確認しました。本年度35名に1台を基準にエアコンが各校に増設されておりましたが依然として全教室にはいきわたっておりません。電気工事を含め、エアコン設置に伴う経費について、次年度予算を町に要望する旨、教育委員会より報告されました。

○ICT教育では各校でタブレット・パソコンを活用した授業が充実しており、授業参観では児童生徒も馴染んでおりました。これまで活用されていたアプリやソフトは町内で統一されていないため、教育委員会に「ICT委員会」を設置して各校代表者により活用するアプリ等について協議を進めており、現場の声が十分に反映されるなど現場主義の運営が行われていました。

○「複式学級」を編成している振内中学校については、教職員の大幅な削減の中で、修学旅行と宿泊研修の日程を合わせる等、工夫された運営を行っているとの報告を受けました。

■各校ともに「子どもたちを真ん中に置いた」取り組みが真摯に行われていたことを総務文教常任委員会として確認しました。

※複式学級の基準…2個学年で8人以下（振内中は1年4名、2年2名、3年10名で1・2年が複式学級）

※教員数の基準…普通学級2学級の場合、校長を含め6名、普通学級3学級の場合、校長を含め9名。

※このほか、養護教諭・事務職員配置で学級数、生徒数による基準がある。



△紫雲古津小学校

行政報告

《第6回定例会》

（9月19日・20日開催）

町より以下の5点について報告がありました。

(1) 日高総合開発期成会要望報告

児童相談所苫小牧分室への一時保護所機能の設置を北海道に要望

(2) 令和6年度平取町表彰

功労表彰に2個人、貢献表彰に11個人、善行表彰に1団体1個人を表彰することに決定。表彰式は11月3日、文化の日に開催予定。

(3) 農作物の生育状況（抜粋）

水稻（作付面積434.4ha）は成熟期が平年より8日早まっている。

（9月1日町農業協議会調査結果）

トマトの出荷量は前年対比92.6%、金額は前年対比101.9%（びらとり農協取扱…9月4日現在）

(4) 令和6年8月31日大雨に伴う被害状況等

土木、農業、林業、商工、住宅ほかで被害が発生し、被害金額は

1億1700万円に上る見込み。長知内地区の住民8名が長知内ふれあいセンターに自主避難。

(5) 教育行政に関する報告

前回定例会（6月）以降の町内小中学校の状況や中学校体育大会出場結果、公設塾「びらとり義経塾」の運営状況、さらにはいじめに関する児童生徒の実態把握調査の結果について報告。

審議した議案

第5回

臨時会

令和6年
8月7日

▼一般会計補正予算（第2号）

定額減税調整給付金、低所得世帯に対する臨時特別給付金、アイ又住宅改良資金貸付金ほか
2億3170万7000円を追加

▼簡易水道事業会計補正予算（第1号）

令和6年度当初に公営企業会計に移行した際、打ち切り決算で

予算を編成していましたが、令和5年度決算が確定したので、当初予算から変更があるものについて修正するための補正。収入7万円の減額、支出6万6000円の減額

第6回 定例会

令和6年
9月19日
9月20日

▼教育委員の任命
和田 与志男氏（荷菜）の任命に同意しました。

▼公平委員の選任

次の3名の選任に同意しました。

和田 ともよ氏（荷菜）
奥村 寛行氏（振内町）
榎田 洋子氏（貫気別）

▼条例の一部改正

・平取町飲料水供給施設条例

岩知志瑞穂地区が町簡易水道に加入するため、瑞穂地区共同水道施設の廃止に伴う改正

・平取町国民健康保険条例

健康保険証の廃止に伴う改正

▼平取町過疎地域持続的発展市町村計画の変更

事業の追加による計画の変更

▼北海道後期高齢者医療広域連合規約の一部改正

不要となった規定について削除

▼工事請負契約の締結

岩知志3地区護床工対策工事

契約者…五十嵐・小林経常建設共同企業体

契約金額…1億6170万円

▼専決処分報告

・一般会計補正予算（第3号）

災害復旧費（公共土木施設、農林水産業施設、その他公共施設）として1億85万2000円を専決処分したことを報告。

▼一般会計補正予算（第4号）

児童手当（法改正による増額）、新型コロナウイルスワクチン接種委託料、ふるさと納税ポータルサイト手数料（追加）、ゴールデアカミイ衣装展及びプレミアムツアー実施委託料ほか

3791万2000円を追加

▼国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

（第1号）

国保事業状況報告システムクラウド改修費 19万8000円を追加

▼介護保険特別会計補正予算（第1号）

国庫補助金等の額確定に伴う返還金 429万1000円を追加

▼令和5年度平取町各会計及び国民健康保険病院特別会計決算認定
決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査を行うこととなりました。

▼議員発議

・平取町議会委員会条例の一部改正
・平取町議会会議規則の一部改正

いずれも、議会の手続きのオンライン化を内容とする地方自治法の一部改正を受けた改正。

▼意見書案の提出

○「国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書（案）」を可決し、関係行政省庁へ送付しました。
【提出者…松澤議員】

※専決処分とは

議会が議決または決定すべき事件について、町長が議会に代わってこれを処分すること。町長が専決処分したときは、処分後初めて開かれる議会で報告します。

▼議会の仕組み▼ ～議会について理解を深め、関心を持ってもらうために～⑤

総務文教常任委員会（そうむぶんきょうじょうにんいいんかい）

常に設置されている委員会（常任委員会）のうちの1つ。町の仕事のうち、以下の課（委員会）に関する所管事務の調査及び審査を行う。

- ・総務課
- ・税務課
- ・まちづくり課
- ・出納室
- ・アイヌ施策推進課
- ・教育委員会
- ・選挙管理委員会
- ・公平委員会
- ・監査委員事務局

例えば…

まちづくり課が所管する「地域おこし協力隊インターン制度」ですでに予算化しているが、更に活用が見込まれるため、対応する補正予算について協議。



△平取町議会のホームページもご覧ください！

～あの人に聞く～

平取町の農業の未来を考える

お2人にインタビュー



びらとり農協理事
沙流土地改良区理事

おくむら としや
奥村 俊也 さん

①担い手への農地集約について

農家戸数は減少していますが、意欲的な担い手によって、周辺の環境等条件の整った農地では水稻や施設園芸を中心に集約が進むと考えています。その他の農地でも、地域に見合った高収益作物への転換を考える必要があると思います。畑地化された農地の今後の扱いも含め、JAと土地改良区と役場が中心となって積極的に議論していかなければなりません。

②平取町農業の将来について

現在農家の労働力不足は深刻であり、生産コスト高や暑熱病害虫対策、たび重なる自然災害なども重なり、疲労困憊な農家も少なくありません。まずは新規就農者はもちろんの事、町内に定住できる農業従事者を募り受け入れる方策が必要だと思います。この広い平取町にとって、農業の衰退は地域の衰退に直結します。

この恵まれた自然環境で育まれる平取の多種多様な農業を未来に繋げてゆく為にも、今ここに暮らす私たちが知恵を出し合い、平取町農業が明るい将来となるよう努めていきたいと思っています。

③議会へ望むこと

議員の皆さんには、顔を合わせる度によく声を掛けてもらい温かく接していただいています。これからも住民に身近な存在でありつつ、議会での活発な議論を期待しています。

①担い手への農地集約について

農地の効率利用に繋がらない要因は様々なのですが1つとして平取町は施設栽培が多い地域です。そのため多くの農地を必要としません。また農地の売買価格や賃貸価格の担保となっていた、及び収益を上げることができた、転作奨励金の扱いが変わったことでより需要は減退しているのが現状です。

また施設栽培と畑作を比べると施設栽培は収益性が優秀なため、畑作を選ぶメリットが少ないです。

これまで畑作物は輸入品に価格競争でどうしても太刀打ちの難しい印象でしたが、円安や世界的な異常気象等で近年価格は上昇傾向が続いているのを見ると、土地利用型の農業が施設栽培と比較して十分な収益性を見込める時が来るのではないかと思います。

こういった現状のため、なかなか農地の効率的な利用には繋がってはいませんが、畑作等に十分な政策支援が続けば新たな担い手や土地利用型に挑戦される方へ農地は集約されていくのではないかと思います。

②平取町の農業の将来について

資材費等の高騰が先行し販売価格に2～3年繋がっていませんでしたが、今年から販売価格にも転嫁されるようになってきました。依然経営管理をしっかりとしなければならない状況ですが、改善の兆しは見えています。

長い目で見れば平取町は農業を行ううえで優秀な条件、潤沢な水源・気象・地域のバックアップ等が揃っており、魅力的な地域だと私は感じています。

恵まれた条件であるがゆえに技術の発展が勢いのある他産地と比べると私自身の栽培技術も劣っているように感じています。逆に言えば他の条件では劣っているとは思いません。継続的な技術の発展を続けていくことができれば更に平取町の農業は発展できると信じています。

③議会に望むこと

極端ですが農業は他の生産者・産地を圧倒できる技術力があれば大体の問題は解決すると考えています。そのため、そういった技術の挑戦への取り組みに支援をお願いしたいです。誤った技術が農業にはとても多いので選定は難しいのですが。



農業委員会農地利用
最適化推進委員

ささやま けいた
笹山 啓太 さん